

名門ホテル 芸術拠点に

2007年に閉鎖された神戸・六甲山の旧「六甲オリエンタルホテル」(神戸市灘区六甲山町)が、8年ぶりに芸術拠点として復活することになった。併設する安藤忠雄氏設計の「風の教会」とともに人気不衰、9月に開幕する「六甲ミーツ・アート」の会場の一つに選ばれた。

(津谷治英)

07年閉鎖の六甲オリエンタル



9月、「風の教会」と共に「復活」

同ホテルは1934年(昭和9)年の開業。しかし、阪神・淡路大震災の後は宿泊客が減少。運営していた阪神の名門・旧オリエンタルホテルの流れをくみ、神戸の夜景が一年、神戸の夜景が一年、阪急電鉄と統合し望めるリゾート施設として知られた。

しかし、阪神・淡路大震災の後は宿泊客が減少。運営していた阪神の名門・旧オリエンタルホテルの流れをくみ、神戸の夜景が一年、阪急電鉄と統合し望めるリゾート施設として知られた。

ただ、その後も国内の愛好家から、教会の見学希望が絶えなかった。今年だけでも10年以上の問い合わせがあり、特別の見学会などで対応してきた。

教会は長い渡り廊下とコンクリート壁の礼拝堂が特徴。閉鎖後も管理する六甲山観光がホテルとともに再生策を模索していたが、ホテル内部の修復には相当な費用が必要と分かったため、当面、芸術作品展示の場として、8年ぶりの利用に踏み切った。

六甲ミーツ・アートの見学希望が絶えなかった。今年だけでも10年以上の問い合わせがあり、特別の見学会などで対応してきた。

教会は長い渡り廊下とコンクリート壁の礼拝堂が特徴。閉鎖後も管理する六甲山観光がホテルとともに再生策を模索していたが、ホテル内部の修復には相当な費用が必要と分かったため、当面、芸術作品展示の場として、8年ぶりの利用に踏み切った。

六甲オリエンタルホテル



旧六甲オリエンタルホテルと風の教会 ホテルは1934年に阪神電鉄が建設し、旧オリエンタルホテルに貸し出した。教会は1986年の完成で、結婚式場として人気を呼んだ。北海道占冠(しむかっぷ)村の「水の教会」、大阪府茨木市の「光の教会」とともに安藤忠雄氏による教会三部作とされ、今も建築ファンの関心を集めている。

芸術拠点として復活する「風の教会」の礼拝堂(神戸市灘区六甲山町、旧「六甲オリエンタルホテル」)

「(8月4日付)「青空主 義プラス」で詳しく紹介します)」

「(8月4日付)「青空主 義プラス」で詳しく紹介します)」